

**緊急討論:ウクライナ危機Ⅱ**  
**「この戦争の問題点——国際人道法の視点から」**  
日 時:2022年3月25日(金) 午後 16:00~18:00  
開催形式:オンライン(zoom webinar)

**共催:長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)、多文化社会学部  
グローバル巨大リスク研究プロジェクト(NURESICA)**

話題提供者 プロフィール

真山 全 (まやま あきら)



1957年生まれ。京都大学法学部卒、京都大学大学院法学研究科修士課程修了・博士課程単位取得満期退学。甲南大学法学部助教授、コロンビア大学法科大学院客員研究員、防衛大学校国際関係学科教授を経て2008年から大阪大学大学院国際公共政策研究科教授。この間、国際人道事実調査委員会委員、国際刑事裁判所設立外交会議日本政府法律顧問等をつとめる。主な著作に『武力紛争の国際法』(共編著、東信堂)、『防衛実務国際法』(共著、弘文堂)等。

パネル討論者

吉田 文彦 (よしだ ふみひこ)



1955年京都市生まれ。東京大学文学部卒、朝日新聞社入社。2000年より論説委員、論説副主幹。その後は、国際基督教大学(ICU)客員教授、米国のカーネギー国際平和財団客員研究員など。主な著書は、『核解体』『証言 核抑止の世紀』『核のアメリカ』。大阪大学にて博士号(国際公共政策)取得。

コンペル・ラドミール



1976年チェコスロヴァキア出身(現・チェコ共和国、スロバキア共和国の双方で生活)。横浜国立大学国際社会科学部研究科博士課程修了、博士(国際経済法学)。専門は比較政治学。著作に『芦田均日記一九〇五~一九四五』(第5巻、柏書房、共著)、論文に「日本国憲法の制定と沖縄の関連性」(『横浜国際経済法学』21-3)などがある。2014年4月より長崎大学多文化社会学部准教授。

モデレーター

鈴木 達治郎 (すずき たつじろう)



1951年生まれ。75年東京大学工学部原子力工学科卒。78年マサチューセッツ工科大学プログラム修士修了。工学博士(東京大学)。2010年1月より2014年3月まで内閣府原子力委員会委員長代理を務めた。核兵器と戦争の根絶を目指す科学者集団パグウォッシュ会議評議員として活動をしている。